

Vol.139

2020年6月号

やらざあ

ふみだそう、福祉でまちづくり



ふだんのくらしのしあわせを
感じられる日々が
早く戻りますように……

御射鹿池(みしゃかいけ) 写真提供者 宮澤 和加雄さん

新型コロナウイルスが日々感染拡大し深刻化している今日、四月二十日に原稿を書いております。

社協では、ヘルパーさんによる訪問介護、昼食入浴等の西部デイサービス、運転ボランテニアさんの協力による移送サービス、事務所での相談など、利用者みなさんの健康と安心安全を第一に、職員も健康チエックをして実施しております。

この感染症は、感染拡大防止のために人に会わないようにしなければならぬため、社会的に人を孤立させたり、お互いさまの支えあいができなくなるなど、著しい悪影響を及ぼすことが懸念されます。

特に高齢者のみなさんは、閉じこもりがちになります。地域での地縁のつながりは、気心も知っておりますので、たとえ会わなくても心のつながりは保つてほしいものです。

気候も良い時期ですので、太陽の輝く中を庭先で野の草花や青葉若葉を楽しみながら、電話でもよいですので、「元氣ですか」と声をかけてみれば、お互いに気分もさわやかになり、安心感も生まれることと思います。

新型コロナウイルスが一刻も早く終息に向かい、再び住み慣れた家や地域で、安心して暮らせるようお互いさまの支えあいができる日々が戻ってくることを切に祈っております。そのためにも一人ひとりが感染しないための行動を心がけていきましょう。





がっこう

いこいの集い 通信

令和元年度 第2回
家庭介護者リフレッシュ事業開催しました！

2月14日(金)、第2回「いこいの集い」を学校形式で開催しました。今回は「学びと癒し」をテーマにゆいわーくにて開校し、17名の生徒が入学しました。
講義の内容は、第1回目のバス旅行中にいただいた様々なご意見やご要望を元に、「成年後見について」「口腔ケア」「介護における税について等」「介助のやり方」を専門の先生方から、実技も交えて学びました。
リフレッシュコーナーには、「ハンドマッサージ」「体内測定」「整体」「プラネタリウム」をご用意し、みなさんそれぞれの癒しの時間を過ごされていました。
学びと癒して1日の学校生活を送った17名の生徒は、笑顔で卒業を迎え、今回のいこいの集いは閉校しました。

「いこいの集い」とは
ご家庭で家族の介護をされている方を対象に、日々の疲れを癒しリフレッシュしていただくことを目的に年2回企画しています。



★参加された方の声★

- ・ 長年介護をしているが、知らないことが多くて勉強になった。実技があつてよかった。
- ・ いつもの温泉もいけど、学校スタイルでの勉強も良いです。何度も参加したい！
- ・ リフレッシュコーナー大満足！1日の学校の疲れもなく過ごせて本当によかった。
- ・ プラネタリウムを見ました。夜、外に出て星を見ようと思った。
- ・ 給食のお弁当と淹れたてコーヒーがとてもおいしかった！



事務局長が替わりました！

ありがとうございました。

丸茂 丈実

(まるも たけみ)

このたび、茅野市への派遣交流で保健福祉サービスセンター長として勤務することになりました。

これまでと違う立場で福祉に携わることで自身の視野を広げ、今後の業務に活かせるよう頑張ります。



よろしくお願いいたします。

竹内 武

(たけうち たけし)

4月1日から事務局長に就任いたしました。微力ではありますが、地域の皆様とともに、地域に密着した活動を積極的に展開し、地域福祉の推進、充実と発展のため、努力してまいります。

一層のご支援とご協力を心からお願いいたします。



令和2年度 茅野市社会福祉協議会の事業と予算

市民一人ひとりを大切にしたい総合的な地域福祉の推進を目指して、令和2年度は下記の事業に取り組みます。なお、社協から提供している事業を「やらざあ」にて随時、紹介していきます。



予算総額 377,276千円



福祉を支えるための 総合支援・応援体制づくりを推進します (64,674千円)

社協広報紙「やらざあ」、ホームページなどを活用した情報提供、福祉意識の啓発を行います。また、社会福祉大会の開催や社協会員の加入促進を行うとともに、様々な生活課題に対して総合的に支援、応援できる社協体制の充実を図ります。

ボランティア・市民活動（市民力）を 推進、支援していきます (14,620千円)

地域や学校などで“ふくし”の心を育む福祉教育（共育）学習を行うとともに、地域で行われている様々なボランティア活動に出向き、課題を一緒に考えていきます。また、ゆいわーく茅野において、市民、行政、社協の三者協働によって、様々なボランティア・市民活動の総合的な支援を展開します。



一人ひとりの日常生活を支え、応援します (60,040千円)

住み慣れた地域で安心して生活を送れるように、シャララほっとサービス、配食サービス「おたっしゃ弁当」、移送サービスなど、利用者一人ひとりに寄り添った生活支援サービスを提供します。また、様々な生活課題を抱える方に対し、総合相談や貸付事業、成年後見制度などを制度横断的に組み合わせ切れない支援を行います。

詳しくは、茅野市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。社協事務局へお問い合わせください。

みなさんの地域づくりを応援します (61,342千円)

各地区に1名配置している生活支援コーディネーターが、「住民同士が互いに支え合える地域づくり」をすすめるため、地区社協や福祉推進委員の活動支援を行います。また、個別訪問をとおして、子どもから高齢者まで一人ひとりの生活課題を解決できるよう支援を行います。



住み慣れた地域で生きがいを持ちながら生活できるように、活動者同士のつながり、地域での見守り、趣味や体操等による居場所づくりなどの支え合いの仕組みづくりを地域のみなさんと一緒に考えていきます。

“心のこもった” 介護サービスを 提供します (144,253千円)

訪問介護事業（ヘルパー）・通所介護事業（西部デイサービス）・居宅介護支援事業（ケアマネージャー）を通して、高齢者や障害のある方が安心して地域での自立生活が続けられるよう、きめ細かな介護サービスを提供します。

障害のある方の相談、 居場所づくりや就労支援をします (32,347千円)

「あすなろセンター」の運営を通して障害のある方に、就労の機会、機能訓練、社会参加の場を提供していきます。また、利用者の方々の様々なニーズに応え、適切なサービスが受けられるように利用計画を作成する相談支援サービスを提供します。

新しい職員が入りました！

竹村 紀彦

(たけむら のりひこ)

このたび、茅野市社会福祉協議会への派遣交流として、次長兼総務・企画係長に配属となりました。

社協としてこれまで培ってきたものを学ばせていただくとともに、これからの社協の発展と地域の発展のために、自分がこれまで経験してきたことを、少しでも活かせるよう努力してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



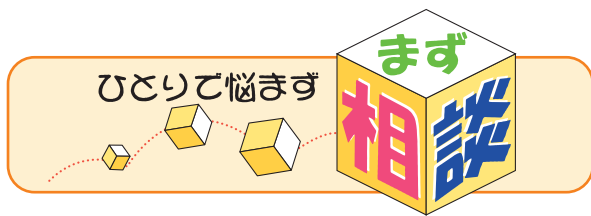
原山 剛

(はらやま ごう)

はじめまして！
3月に長野大学を卒業し、今年度、日常生活支援係に配属となりました。

1年目ではございますが、大学生活で学んできたことを活かして、これからみなさんと共に頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。





人生には様々な悩みがあります。
「誰にも相談できない」
「どこに相談したらよいかわからない」
そんなときは、まず社協にお電話ください。
すべての相談会場は
社協相談室（茅野市ひと・まちプラザ2階）になります。
TEL 73-4431

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。
毎週金曜日 午前9時～正午
相談員：社協職員

結婚相談

結婚を望まれる方の相談
毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時
毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分
相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談
毎月第2水曜日 午後3時～午後5時
相談員：司法書士

※コロナウイルス感染症の影響から相談の中止をすることがあります。ご了承ください。

ど寄付ありがとうございました

令和2年2月1日～令和2年3月31日まで
(順不同、敬称は省略させていただきます。)

【寄付金】	
SUWAオプトロニクス労働組合	14,254円
有限会社夢美人代表取締役 両角和茂	62,464円
【遺志金】	
西條 恵三	100,000円
【寄贈】	
故 植松吉三	手づくり根付



みなさんからいただいたご寄付は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等に使われています。
※この他にも匿名で多くの物品やご寄付をいただいております。

社協広報紙 やらざあ Vol.139

2020年6月号

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会
編集／やらざあ編集委員会
〒391-0002
茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階
TEL (0266) 73-4431
FAX (0266) 73-8030
URL: <http://sharara.or.jp>
E-mail: support@sharara.or.jp

社協広報紙 やらざあ の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。



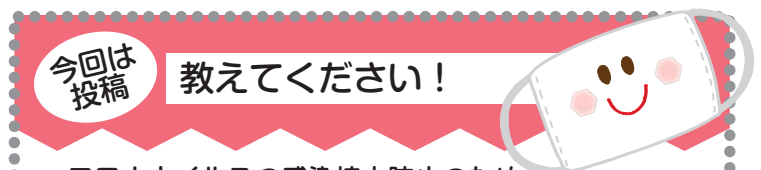
中止のお知らせ

毎年、夏休みの期間に実施しています「サマーチャレンジ2020」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止といたします。楽しみにされているみなさんには、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

【問合せ】茅野市社会福祉協議会
地域福祉活動推進係 TEL 73-4431

読者の声

- ・4月号の第3次地域福祉行動計画についての記事を読み、こういった指針があることを初めて知りました。まずは近所の方に気持ちよくあいさつをすることから始めていきたいです。(ちの 30代 女性)
- ・コロナ感染拡大の為、ボランティアなどが出来なくなり、平常な日々の生活のありがたさを実感しています。しっかり予防をし、免疫力をつけ乗り切っていきます!! (玉川 60代 女性)



コロナウイルスの感染拡大防止のため、人に会えないこんなときだからこそ、人とのつながりや支えあい工夫したこと、実際にやったことを教えてください。

投稿は、150文字以内でお願いします。様式は問いません。写真があればぜひ写真も一緒に送ってください。いただいた投稿（写真も含む）は、8月号以降のやらざあで紹介させていただきます。

応募要領

投稿、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあ感想、つぶやきなど一言添えて社協（やらざあ編集委員会）までお送りください。封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。投稿者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り 令和2年6月10日（水）

前回のクイズの答え ウグイス

当選者

宮澤真緒さん（ちの） 坂元順子さん（豊平）
濱今朝満さん（宮川）

当選された方には図書カードをお送りいたします。

ご応募ありがとうございました。

